

単元名

天応自然守り隊!!

～ええじゃん！いつまでものこそう 天応の山・川・海～

令和7年 10月2日(木)
3A教室 計36人

「本質的な問い」・「単元を貫く問い」について

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 本質的な問い | 自然とともに生きるには、何ができるか。 |
| 単元を貫く問い | 天応の自然をずっと大切にしていくには、私たちにどんなことができるだろうか。 |

単元について【単元観】

本単元は、児童が身近な地域・天応の自然に関心をもち、その美しさや多様性、そこにある課題に気付きながら、自然と人との関わりについて主体的に考え、行動できる力を育てることをねらいとしている。現在、地球規模での気候変動や生物多様性の喪失が深刻化しており、持続可能な社会の実現に向けた学びの必要性が高まっている。こうした背景のもと、本単元ではSDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」目標15「陸の豊かさを守ろう」に着目し、自然のよさと課題の両面から天応の自然を捉える探究活動を行う。山・川・海など多様な自然環境が身近にあることの価値やありがたさに気づき、その変化や生き物の生態の変化から、自然とのつながりを実感し、自分たちにできることを考え、行動しようとする意識を育てていく。まず、地域の自然や生き物との出会いを通して関心を高め、昔と今の自然を比較し、現地調査やインタビュー、資料を活用して地域の自然に関する理解を深めていく。また、得られた情報を基に、天応の自然のよさや課題を伝えるマップ等を制作し、他者に伝える力も育てていく。こうした表現活動を通して、学んだことを地域の人に伝えたり、自分たちにできることを実際に行動に移したりすることで、自然とともに生きる地域の未来を自分たちでつくろうとする態度を育てていく。さらに、自然だけでなく、その土地の地形や人とのかかわりを含めた環境としての視点を広げることで、自然を「守る対象」としてだけでなく、「関わりながら共に生きる存在」として捉える視点も養っていく。次年度の「防災」や「社会の中での自然との共生」にもつながる学びとして位置付けており、児童が地域に主体的に関わり、持続可能な未来を自らつくろうとする資質・能力の育成を目指している。

児童について【児童観】

①天応の自然や生き物に関心をもち、問いを立てて主体的に情報を集めようとしている。

「なぜだろう」「もっと調べてみたい」と考えながら、図鑑やインターネット、地域の人から情報を得ようとする姿が見られる。アンケートでは約85%の児童が「天応の自然についてもっと知りたい」と答えており、自然への関心が高い。一方で、自然の「恐ろしさ」などの視点は弱い。目的に応じ、視点を広げて情報を収集する力を育てる必要がある。

②自分の考えを伝えたり聞いたりすることを楽しみ、思考を深めようとしている。

約90%の児童が「友達と意見を伝え合うのが楽しい」と答えており、対話を通して考えを深める姿が見られる。今後は、根拠をもって伝える力を更に育てていく必要がある。

③地域の自然を守りたいという思いが強く、仲間と協力して活動しようとしている。

「天応の自然を守りたい」と答えた児童は約100%にのぼる。しかし、取り組み方には個人差があり、協働や挑戦する意欲を高めていく必要がある。

指導の工夫について【指導観】

① 自然への関心を更に広げるとともに、目的に応じた情報収集力を育てる。

図鑑やインターネットに加えて、地域の自然に触れたり、人の話を聞いたりする多様な体験の場を設定する。また、自然のよさだけでなく課題や人との関わりなどの視点に気付くようにし、目的意識をもって情報を集める学習へとつなげていく。

②自分の考えを整理し、根拠をもって伝え合う力を育てる。

思考ツールや情報の分類・分析を通して、自分の意見を整理して表現する場を設定する。また、対話や発表の場を設け、相手を意識しながら思いを分かりやすく伝える経験を重ね、図や絵など多様な方法で表現する活動を取り入れる。

③「自分にできること」を見付け、仲間とともに学び合いながら挑戦する意欲を育てる。

実際の生活にある課題を基に、自分の力を発揮しながら解決に向けて真剣に取り組む中で、自分の役割に責任をもち、仲間と協力する力を育てる。成功体験や達成感が得られる振り返りや共有の場を設け、挑戦し続けようとする意欲を高めていく。

1 単元目標

天応の自然に関する体験活動や地域の人との関わりを通して、自然の素晴らしさや守ることの意味を理解し、自分にできることを考えるとともに、地域の人と協働し、天応の自然との関わりを意識しながら行動したり生活したりできるようにする。

2 単元の評価規準

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|---|---|---|
| 評価規準 | ①天応の自然や生き物、人とのかかわりについて、そのよさや大切さに気付き、理解している。 ②地域の人とのかかわりや自然体験、資料などから、自分に必要な情報を集めている。 【情報収集力】 ③自然や生き物への見方や関わり方の変容は、天応の自然や人とのつながりについて探究的に学んだことによる成果であると気付いている。 | ①天応の自然や生き物との関わりに関する課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明らかにしながら、活動の計画を立てている。 ②地域の人に話を聞いたり、天応の自然を観察したり、図書やインターネットを活用して、必要な情報を集めている。 ③集めた天応の自然や人とのつながりに関する情報を、表や図、思考ツールなどを用いて分類・整理し、特徴を見付けて説明している。 【情報活用力】 ④天応について調べたことや感じたことを、根拠をもちながら相手に応じて分かりやすく表現している。 【批判的思考力】 | ①探究活動の中で、自分や友達の意見や考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとしている。 【協働性】 ②身近な人と協力して進んで探究活動を行おうとしている。 【協働性及び挑戦心】 ③地域との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。 【挑戦心】 |

※本校で重点的に育成する資質・能力【情報収集力、情報活用力及び批判的思考力、協働性及び挑戦】

3 単元の計画 (全 70 時間)

| 小単元 (時数) | 学 習 内 容 | 評 価 規 準 | | | 他教科等との関連 | |
|---------------------|--|---------|---|---|------------|--------------------------------|
| | | 知 | 思 | 態 | | |
| 1 天応の自然をもっと知り隊！(20) | 課題の設定 ・30年前の天応マップを見て、当時と今の天応の自然の違いに気付き、疑問や課題をもつ。 | | ① | | 振り返り | 理科 「生き物をさがそう」 |
| | 情報の収集 ・地域の自然博士や校歌の作詞者などの話を聞く。 ・校歌に登場する「天狗城山」に登り、植物や生き物を観察・記録する。 | | ② | | 振り返り | 国語科 「メモを取りながら話を聞こう」 |
| | 整理・分析 ・「天応の生き物」を分類・整理する。 | ① | | | ロイロノートのカード | 理科 「チョウを育てよう」 |
| | まとめ・表現 ・見付けた天応の自然のよさをカードにまとめ、「天応自然マップ」を作る。 | | | ① | 振り返り | 理科 「こん虫のかんさつ」 「植物の一生」 |
| | 振り返り ・自分たちが見付けた自然のよさや変化を振り返る。 | | ③ | | 振り返り | 国語科 「ワニのおじいさんからのたから物」 |
| 2 天応の自然伝え隊！(30) | 課題の設定 ・天応自然マップを理科博士に見てもらい、アドバイスをもらう。 | | ① | | 振り返り | 音楽科 「ふじ山」「春の小川」 「海風をきって」 |

| | | | | | |
|---------------------------|---|--------|---|------------------------|---|
| | 情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々（市民センター、生き物博士など）から話を聞く。 ・校内の理科博士による授業で、（山の成り立ちや地質、急斜面・豪雨時の危険性、津波など）「自然の恐ろしさ」を学ぶ。 | ② | | 振り返り | 算数科 「表とグラフ」 |
| | 整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・山川海を「やさしさ」と「おそろしさ」のキーワードで整理・分析する。 ・自然を守る「技」の理由を考えることを通して、自然を守るための自分なりの考えをもち、根拠をもって分りやすく表現する。 【本時2/3】 | ③ ④ | | 行動観察 振り返り ワークシート | 社会科 「火事からくらしを守る」 |
| | まとめ・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・天応自然マップにまとめ、文化祭で披露する。 ・文化祭の3年生発表で歌とダンスを交えながら調べてきたことや伝えたいことを発表する。 | | ① | 行動観察 振り返り | 特別活動 「文化祭に向かって」 音楽科 「思いを音楽で表そう」 体育科 「表現運動」 |
| | 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・発信後の反応や自分の成長を振り返り、地域との関わりの変化や伝えることの意味を見つめ直す。 | ③ | | 振り返り | 国語科 「いろいろなつたえ方」 |
| 3 天応自然守り隊 出動!! (20) | 課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・天応の自然を守るために実際に何ができるかという課題をもつ。 | | ① | 振り返り | |
| | 情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・自然を守る方法や手段の情報を集める。 | ② | | 行動観察 振り返り | 国語科 「案内の手紙を書こう」 理科 「たねをまこう」 |
| | 整理・分析 まとめ・表現 実行 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えた自然を守る方法を実行する。 | ④ | ② | 行動観察 振り返り | 道徳 「やさしい人大きくせん（B6）」 |
| | 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・自然や地域との関わり深まり、今後続けていきたいことを考え、言葉にする。 | | ③ | 振り返り | |

4 本時について (本時 37/70)

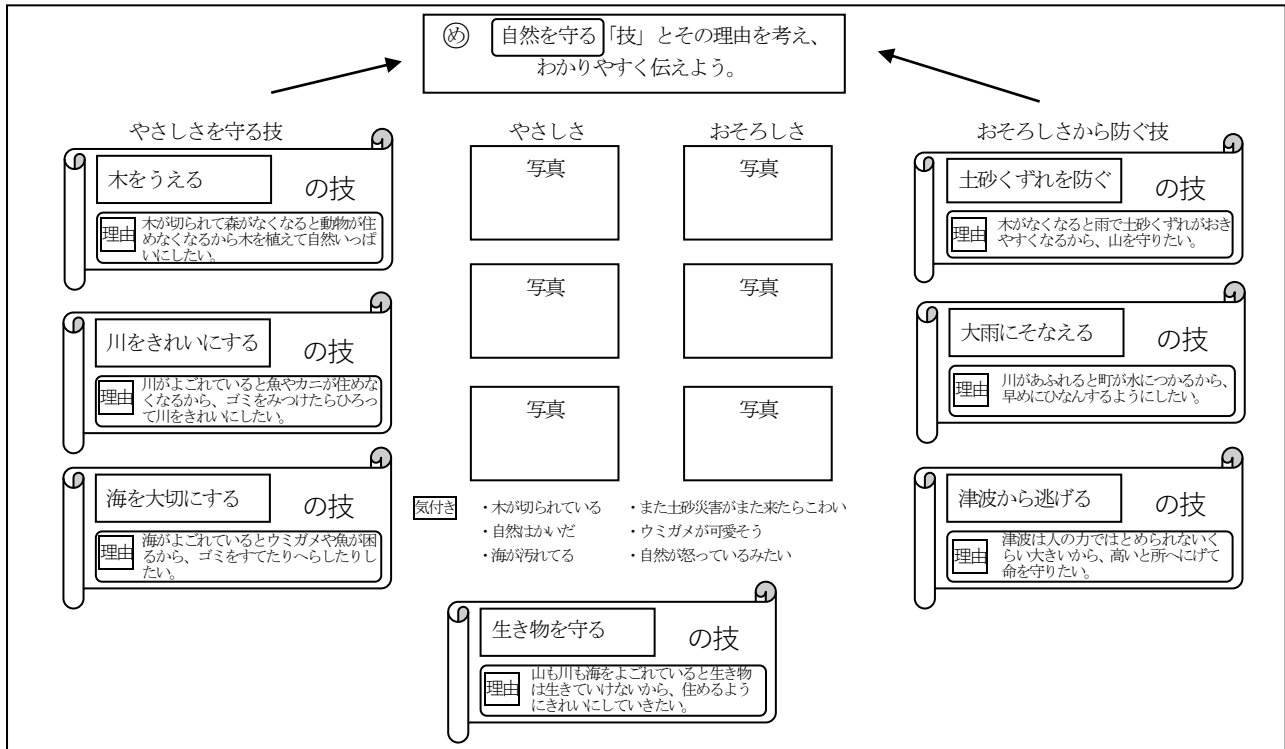
(1) 本時の目標

自然を守る「技」の理由を考えることを通して、自然を守るための自分なりの考えをもち、根拠をもって分かりやすく表現することができる。

(2) 本時の展開

| | 学習活動 | ◇指導上の留意点 | ◎評価規準 (評価方法) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て |
|----|--|---|--|
| 導入 | 1 「天応自然守り隊本部」からの新しい任務を受け取る。 ・写真から気付きを見付ける。 | ◇任務カードや写真を提示することで、児童の興味・関心を高める。 | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 【中心発問】 自然を壊すもの (自然の鬼) って何だろう？ </div> | | |
| | <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> (めあて) 自然を守る「技」とその理由を考え、わかりやすく伝えよう。 </div> | | |
| 展開 | 2 個人思考をする。 3 ペア・グループで相談をする。 4 全体共有をする。 ・分類の視点に気付き、自然を守ることについて考える。 | ◇既習内容の振り返りのために総合的な学習の時間の足跡を提示する。 ◇自分の考えをよりもちやすくなるように相談タイムを設ける。 ◇意図的に子供の意見を対比させながら板書に示す。 | ◆気持ちの切り替えが難しい場合は、選択肢をしばって提示し、スモールステップで支援する。 ◎自然を守る技と理由を根拠に基づいて、分かりやすく伝えている。(行動観察・ワークシート) ④ ◆配慮が必要な児童については、発表を強要せず、ワークシートや絵、記号での表現を認める。また、ペアや友達が代弁する形でもよいことにする。 |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> (深い学びにするための「しかけ」) 「自然を守るとどうして災害を防ぐことにもつながるのかな？」と投げかけることで、児童は「やさしさを守ること」「おそろしさを防ぐこと」の両面に関係していることに気付き、自然の二面性を多面的・批判的に捉える学びへと発展するようにする。 </div> | | |
| 終末 | 5 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 | ◇振り返りの視点を示す。 | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> (振り返りの例) ・自然を守るということは、やさしさを守ることとおそろしさを防ぐことの両方が大切だと気付いた。だから、自然守り隊として、今日学んだことを文化祭でも伝えていきたい。 ・友達の考えを聞くことで、自分にはなかった「技」に気付くことができた。これから自分のできることをやっていきたい。 </div> | | |
| | | ◇「天応自然守り隊本部長」(本校教諭/理科博士) から講評をいただくことで次時への意欲付けを図る。 | |

5 本時の板書計画 等



天応自然守り隊の諸君へ

諸君よ、ここまで「自然のやさしさとおそろしさ」を学び、力をつけてきたこと、本部はしっかり見ている。

最近では 自然を壊す「おそろしい鬼」が現れるようになってきた。

今こそ試練のとき。

これから見せる写真には、その「自然の鬼」がひそんでいる。よく見て気付きを出し、“自然を守る技”を考えよ。仲間とともに協力し考えを深めた時、諸君を「天応自然守り隊の柱」と任命しよう！

天応自然守り隊 本部長より

6 本時に関わる単元ルーブリック

| | | |
|--------|--|--------------------------------|
| 観点 | 思考・判断・表現 | |
| 評価規準 | 自然を守る技と理由を根拠に基づいて、分かりやすく伝えている。 | |
| ルーブリック | A | B |
| | 自然を守る技と理由をはっきり結び付け、写真や体験など複数の根拠を基に、友だちに分かりやすく説明している。 | 自然を守る技と理由を根拠に基づいて、分かりやすく伝えている。 |

7 配慮の必要な児童の実態について

・A児

自閉症スペクトラムの診断を受けており、こだわりがあるため気持ちの切り替えが難しい場合がある。また、全体指示を聞いていないことがあるため、個別の声かけが必要である。

【授業での配慮】

全体の指示の後、個別の声かけをする。